

トヨタ自動車のAA型種類株式の概要

(2015年6月16日発行決議時点、トヨタ自動車公表資料より)

発行の目的

- ・中長期の保有を目的とする新たな株主層づくり

資金使途

- ・次世代イノベーションの研究開発資金(燃料電池車開発、インフラストラクチャー研究、情報化・高度知能化モビリティ技術開発等)

発行のスケジュール

- ・7月2日～7日のブックビルディング(引受証券会社による需要調査)により、普通株式時価の1.26～1.30の範囲で発行価格(募集価格)決定

- ・払込期日は、7月24日

発行内容の概要

議決権あり

- ・普通株式と同様の議決権

発行価格

- ・普通株式時価(6月18日終値8,184円)から、10,300～10,600円程度か

普通株式と異なる 配当

- ・配当率(発行価格に対する)は1年目0.5%で順次5年間は毎年0.5%ずつアップするが、普通株式の配当利回り(6月18日時点予想配当利回りは、2.8%)は当面超えない

譲渡制限あり

- ・譲渡制限はあるが、TOBなどの応募や相続は可能で、買収防衛策ではない

換金性

- ・約5年間は原則換金できないが、平成32年9月以降は発行価格ベースに換金可能(金銭対価の取得請求権)

普通株式への 転換

- ・約5年間は転換できないが、平成32年10月以降は原則AA型種類株式1株に対して、普通株式1株に転換請求することが可能(転換請求権)

実質的現金償還

- ・平成33年4月以降は原則発行価格をもって、AA型種類株主より会社が買い取ることが可能(金銭対価の取得条項)



※本資料は、トヨタ自動車への投資を勧誘するものではありません。同社のAA型種類株式発行の概要と資本政策としての解説を目的として作成しております。

AA型種類株式の投資効果について(投資家視点から)

他の投資手段との比較

投資目的への制限

- ◆ 5年以上、長期投資
- ◆ 5年以上、換金不可
- ◆ 上場せず、相続などに場合以外の譲渡も制限され、流動性なし

社債と異なり中長期
成長メリットは享受

実質的元本保証

- ◆ 元本保証のエクイティ
(新株予約権付社債と異なり、資本は安定(自社株取得を行うので))

普通株式と異なる投
資の安全性

成長期待と投資期待

- ◆ 資金使途は次世代技術開発
- ◆ 中長期の成長期待と、投資の安全性を両立

新株予約権付社債
と異なり流動性なし

資本政策明確化への期待

- ◆ 今後、複数回のAA型種類株式発行が予定されているが、その間の普通株式発行増加等は予想しにくい
- ◆ 同種株発行と同数の普通株式に対する自社株取得を計画
(AA型種類株式発行に伴う普通株式の希薄化を回避)

トラッキングストック
と異なり会社全体の
成長期待へ

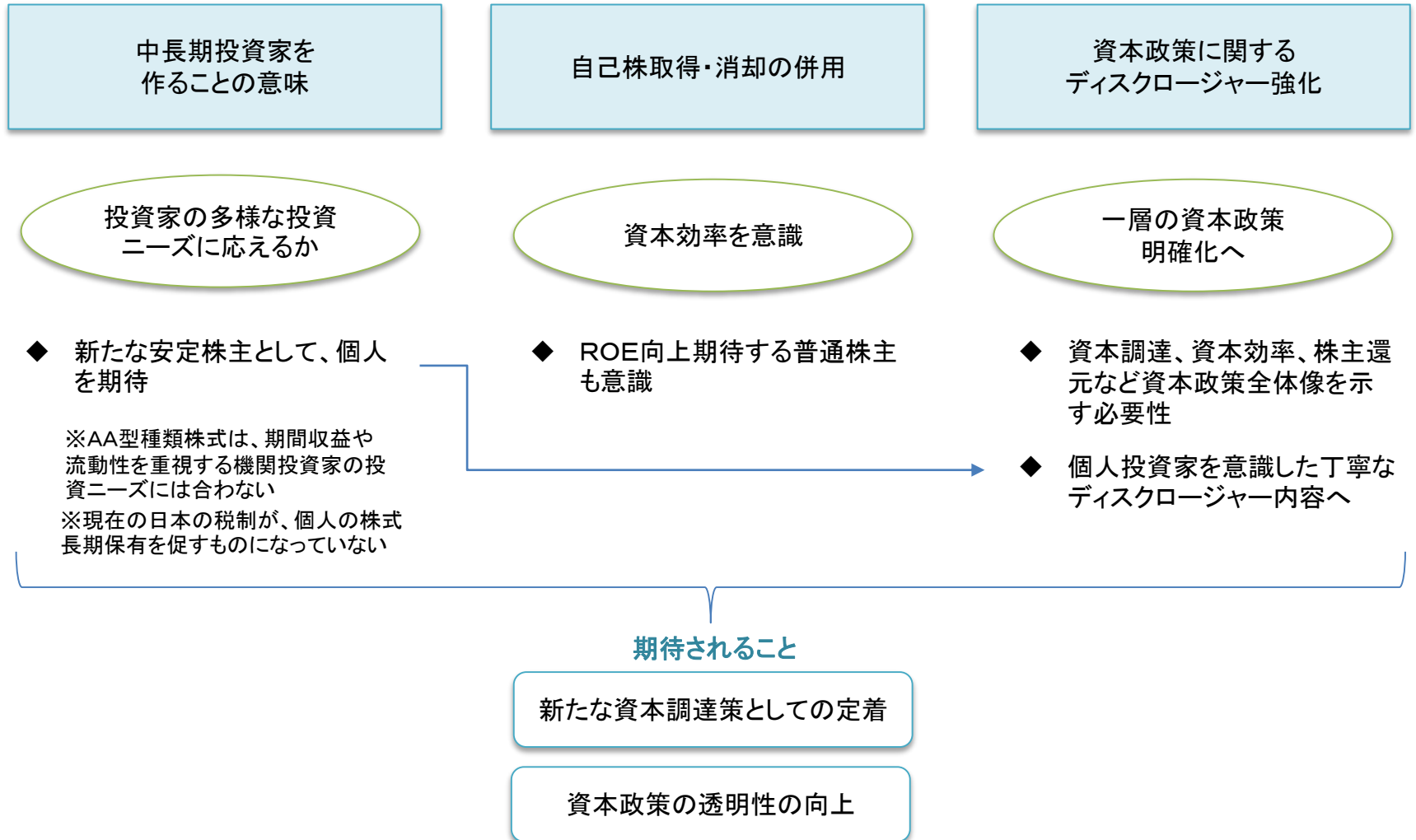
普通株式主への影響

- ◆ 市場の浮動株比率が減少する可能性、政策保有株式が縮小する可能性
- ◆ 配当や自社株取得・消却など株主還元策が一層明確化する可能性



※本資料は、トヨタ自動車への投資を勧誘するものではありません。同社のAA型種類株式発行の概要と資本政策としての解説を目的として作成しております。

AA型種類株式発行の効果(資本政策として)



※本資料は、トヨタ自動車への投資を勧誘するものではありません。同社のAA型種類株式発行の概要と資本政策としての解説を目的として作成しております。